



思いやりの心が育っています

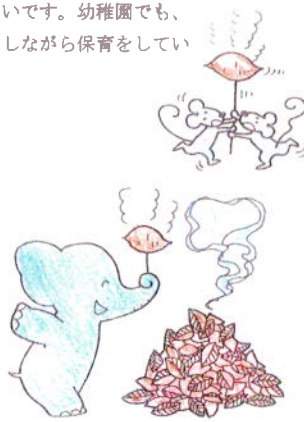
10月20日には父母会主催の「しらゆりまつり」が行われました。たくさんの方に来ていただき楽しい時間となりました。役員の方々、長い時間かけて子どもたちが喜ぶ手作りおもちゃやゲームを作ってくださいました。また、個人出店の方々もワクワクするお店を開いてくださいました。真砂白百合幼稚園は、遊ぶものからメダルまで既成のものではなく、できるだけ手作りを大切にしています。今年の運動会のメダルは、忍者にちなんだ絵柄のメダルでした。先生方が時間をかけて作りました。私たちの温かい思いを感じ取って欲しいからです。その思いと全く同じ思いで、役員の方々がバザーに臨んでくださる姿を見て、私は本当に感動しました。これこそ、幼稚園と保護者の方々が一体となって保育をする理想の姿だと思っています。感謝します。

毎月お誕生会をしています。全園児がホールに集まってお誕生月の人のお祝いをします。お誕生日を祝ってくれる人がいるということは、とてもうれしいことです。誕生日にまつわるこんな話がありました。『外で遊んでいる時のことです。「〇〇君と△△さんは、10月生まれだよね。」と言って2人の手をひいて行った先には、パーティ会場と砂で作った大きなケーキがありました。そのケーキの上には木の枝が4本差してありました。2人にろうそくの火を消してもらいまねをもらうと同時に、そこにいたみんなが誕生日の歌を歌い、拍手をしました。』『あるクラスでは「〇〇君、誕生日おめでとう」と声をかける姿がたくさん見られるようになりました。』素敵な光景です。これらのことは、先生が促したのではなく、子どもたちから自然に出た行為や言葉かけです。どうしたらこのような子どもが育つのでしょうか。児童精神科医の佐々木正美さんの本には次のように書いてありました。『思いやりの心を育てるには、親や家族に思いやられながら育つことが不可欠です。思いやられるとは喜びを与えられることです。幼い子ども時代には、単純に喜ばせてもらう機会や時間が多いことが大切です。そして、乳幼児期の後半には、親自身も喜びを感じてほしいという、より高度な感情を抱きはじめます。そのことが相手と一緒に喜ぶことがより深い喜びになることを知っていくことに繋がるようです。』真砂白百合幼稚園の子どもたちは、保護者の方々の温かい思いをたっぷり受けて育っています。ですから、思いやりのある子どもたちが多いです。幼稚園でも、これまでと同じように温かい思いをもって、一人一人の子どもたちを大切にしながら保育をしたいと思っています。

【11月の行事予定】

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				休園 入園願書受付・園種	年少休園	祝 文化の日
4	5	6	7	8	9	10
休	年中休園	津波訓練 年長休園	休園 公開教育研究会		園庭開放 新人職員研修申込	休
11	12	13	14	15	16	17
休						休
18	19	20	21	22	23	24
休			午前保育 作品展前日準備	作品展 園庭開放		休
25	26	27	28	29	30	
休	休園 作品展代休		午前保育 誕生会			

★ 十一月六日の津波訓練ですが、真砂東小学校との合同訓練です。真砂東小の屋上へ避難します。予備日 十一月十九日です。



お知らせ

※1日(木)入園願書受付、面接

7日(水)公開教育研究会

26日(月)作品展(23日分)代休

のため休園です。

※高校生・中学生が体験学習に来ます。皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

職場体験・・・打瀬中学校 11/14・15・16(8:00~16:00)

家庭科実習・・・検見川高校 11/14(10:00~11:15)



公開教育研究会

千葉市幼稚園協会 公開教育研究会は、毎年、協会加盟園が順番に幼稚園の公開をして互いに参観し合い、学びの時を持ちます。当日、各園の保育者は、公開園を参観いたしますので公開園以外は休園です。互いに保育を見せ合い意見を交わすことで、日頃の保育を省み、向上させるための良い機会になります。

お弁当の保温

(12月から3月まで保温器でお弁当を温めます)

*弁当箱は熱に強い耐熱性のもの。アルミ・ステンレス製などが良いでしょう。

(プラスチックの場合は、ふた・本体とも耐熱性のもの)

*弁当のふたが開かないように幅2cmほどの平ゴムで留めます。

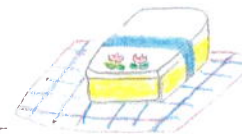
(保温器に弁当箱を重ねて入れるため、ゴムは飾りのないもの)

*弁当箱・ゴムには必ず記名してください。(袋から出して保温します)

*内容により、保温の必要がないときは、担任まで連絡をお願い致します。

(お子様にも保温しないことを伝えておいてください)

*果物・生野菜等、傷みやすいものは、別容器にお入れください。



作品展について

年長組になって2階の部屋に入った子どもたちが「2階には忍者が隠れている」と探し回りましたが、どこを見渡しても見つけれられません。「隠れみの術を使ってるんじゃない」……こんなやりとりをしながら、今年は2階に棲む忍者と1年間を共に過ごす事になりました。いつも隠れて見守ってくれている忍者に、「にんまる」と名づけ、どこの忍者村から来たのか等々、手紙を描き、やり取りが始まりました。事ある度に「にんまる」から励ましの手紙が届きます。

そこで今回のテーマは年長さんがみんなで考え『にんまるの森』に決めました。まず、年長の子どもたちが作品展についてどんなふうにしたいか話し合い、計画し、年中・少組に説明して「一緒に作りましょう」と伝えに行きました。これからクラスで話し合い、何を作るかを決めて、制作を始めます。

11/22の保育中は子どもたちが見学しますので、保護者の方は下欄の時間帯にご覧ください。

※各クラスの取り組みについては、学年だよりでお知らせいたします。

※子どもたちの大切な作品です。子どもたちには作品見学のマナーについて、伝えてありますが、小さなお子様と一緒にご覧の際、お子さまが会場内を走りまわったり、作品に手を触れぬよう互いに声を掛け合っていると幸いです。

【日時】 11月22日(木)・・・12:30~15:00(午前中は子どもたちが見学します)

11月23日(金)・・・10:00~14:00

【場所】 幼稚園ホール

☆22日は通常降園・23日(金)は13:00降園(お弁当持ち)です。

※降園時バスを利用しない場合は、朝、乗務員にお知らせください。

☆降園後はお子さんと一緒にご覧ください。

